

項目	機能
1 ディスプレイ	熱画像および可視画像 (testo 865 を除く)、メニュー、機能を表示
2 インターフェイス端子ボックス	電源用および PC 接続用のマイクロ USB インターフェイス
3 - 電源ボタン - Esc ボタン	- カメラの電源オン/オフ - キャンセル実行
4 - OK ボタン - ジョイスティック	- メニューを開く、機能を選択する、設定を確定する - メニューのナビゲーション、機能やカラーパレットを選択する
5 ファンクションキー	ファンクションキーに割り当てられた機能呼び出す、選択中の機能はディスプレイの右下に表示
6 赤外線カメラ・レンズ、保護キャップ	熱画像を撮影する、レンズを保護する
7 デジタルカメラ (testo 865 は除く)	可視画像を撮影する
8 レーザー (日本では使用不可)	測定ポイントをマークする (testo 872 のみ)
9 トリガー	表示された画像を保存する
10 バッテリー格納部	充電式バッテリーを格納

電源のオン/オフ

- 1 - レンズから保護キャップを取り外します (6)。
- 2 - 電源ボタン(3)を押して電源を入れます。
- 電源ボタン(3)を長押しして電源を切ります。



測定精度を保つため、約 60 秒毎にサーモグラフィの内部調整が自動で行われます。このときカチッというクリック音が聞こえ、一時的に熱画像がフリーズします。

操作メニューのナビゲーション

- 1 - OK ボタン(4)を押して、メニューを開きます。
- 2 - ジョイスティック (4) を上下に動かして、機能を選択します (選択した機能はオレンジ色で強調表示されます)。
- 3 - OK ボタン(4)を押して機能を確定します。
- 3.1 - 三角マーク(▶)に従ってジョイスティック (4) を右に動かすと、サブメニューが開きます。

画像の保存

- 1 - トリガー (8) を引きます。
▶ 熱画像が自動的に保存されます。
testo 868, 871, 872: 選択している画像タイプにかかわらず、熱画像保存時には常に可視画像も添付画像として保存されます。



高解像が必要な場合は、撮影前にあらかじめ「設定」メニューで **S** 「SuperResolution」を選択しておきます。
@ 詳しくは取扱説明書をご参照ください。

画像の表示と削除

- 1 - 「画像ギャラリー」を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。
- 2 - ジョイスティック (4) を上下左右に動かして画像を選択し、OK ボタン (4) を押し、画像が表示されます。
- 3 - 削除ボタン (5) を押し、画像が削除されます。

放射率の設定

画像タイプ で熱画像を選択時のみ有効な機能です。



放射率とは、物体から放射される赤外線の色を示すものです。正確な測定を得るためには、測定対象物の素材に適した放射率を設定する必要があります。

ε-アシスト機能を使うと、放射率と反射温度が自動的に検出されます。反射温度補正 (RTC: Reflected Temperature Compensation) とは、他の物体からの熱放射に対する補正です。

@ 詳しくは取扱説明書およびポケットガイドをご参照ください。

- 1 - 「放射率」機能を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。
- 2 - ジョイスティック (4) を上下に動かして測定対象物の素材を選び、OK ボタン(4)を押します。

測定の設定

画像タイプ で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

- 1 - 「計測」サブメニューを開きます。方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。
▶ 計測サブメニューの各機能:
 - ピクセル・マーク:
 - 1 点温度表示: 熱画像の中央にある温度測定ポイントを白のクロスヘアでマークし、測定値を表示します。保存画像上でも、ジョイスティックを使用してクロスヘアを動かして、他の測定ポイントの測定値を読むことができます。
 - コールドスポット、ホットスポット: ディスプレイ内の最も温度の低い測定ポイントまたは最も高い測定ポイントを青または赤のクロスヘアでマークし、測定値を表示します。
 - エリア内の最低/最高温度 (testo 872 のみ): 選択されたエリア内の最低温度値、最高温度値、平均温度値を表示します。
 - 測定範囲: 測定値が含まれている温度範囲(参考情報として)。
 - 温度差表示: 2 点の温度の差を識別します。
- 2 - ジョイスティック (4) を上下に動かして必要な機能を選び、OK ボタン (4) を押し、

カラーパレットの変更

画像タイプ で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

- 1 - ジョイスティック (4) を上下に動かして、必要なカラーパレットを選択します。

画像タイプの変更 (熱画像 / 可視画像) (testo 868, 871, 872)

- 1 - 「画像タイプ」を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。
- ▶ 画像タイプが熱画像から可視画像へ、あるいは可視画像から熱画像に自動的に変更されます。

スケールの設定

画像タイプ で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

i 自動スケールリングでは、提示されている計測値に対して継続的にスケールを調整するため、温度値に対して指定したカラーが変化します。マニュアル・スケールリングでは、上下限界が決められ、温度値に対して指定したカラーは変化しません(可視画像との比較時に重要です)。スケールリングは、ディスプレイ上の熱画像の見え方に影響しますが、記録された測定値には何の影響もありません。スケール・アシスト機能では、屋内・屋外の温度に応じて、標準化されたスケールを設定することができます。

- 1 - スケール を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。
 - 2 - ジョイスティック (4) を上下に動かして、自動, マニュアル または スケール・アシスト を選択して **OK** ボタン (4) を押します。
- ▶ 自動スケールリングが起動しました。**A** マークが右下に表示されます。

マニュアル・スケールリングの設定

- 1 - ジョイスティック (4) を左右に動かして、最低温度 (下限値) を選択します。
- ジョイスティック (4) を上下に動かして値を設定し、**OK** ボタン (4) を押します。
- 2 - ジョイスティック (4) を左右に動かして、最低温度 (下限値) およびを最高温度 (上限値) を選択します。
- ジョイスティック (4) を上下に動かして値を設定し、**OK** ボタン (4) を押します。

- 3 - ジョイスティック (4) を左右に動かして、最高温度 (上限値) を選択します。
- ジョイスティック (4) を上下に動かして値を設定し、**OK** ボタン (4) を押します。
- ▶ マニュアルスケールリングが有効になります。**M** マークが表示されます。

ファンクションキーの使用法

i - ファンクションキー (5) は、キーを押すことにより機能呼び出すことができる補足のナビゲーションです。

- 1 - ジョイスティック (4) を上下に動かして、キー割り当て 機能を選びます。
 - 2 - ジョイスティック (4) を上下に動かして必要な機能を選択し、**OK** ボタン (4) を押します。
- ▶ 選択した機能のアイコンがディスプレイ右下に表示されます。
- 3 - **F** (5) を押して機能呼び出します。

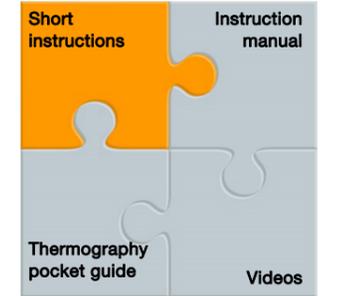
testo 865, 868, 871, 872 簡易マニュアル



www.testo.com



testo.com/download/865-872



i 無線 LAN 経由で接続するためには、お使いのタブレットまたはスマートフォンに、予めテストのサーモグラフィ専用アプリをインストールしておく必要があります。

i 簡易マニュアルでは基本操作手順をご説明しています。製品の安全な取り扱い方法や詳細情報については取扱説明書をご参照ください